



福岡小だいよ

明るく かしこく たくましく

<http://www.city.tsukubamirai.lg.jp/blog/fuku971/>



「算数科研究発表会」を終えて

校長 横山貴美子

早いもので、今年も残すところあと半月。登校はあと1週間となりました。

12月始めの保護者面談では、ご協力いただきありがとうございました。学校の様子をお伝えしたり、家での様子をお聞きしたりする貴重な情報交換の機会となりました。今後も保護者の方々と連携し、お子さまの健やかな成長のために努力して参ります。何かありましたら、いつでも遠慮なく学校にご連絡をいただきたいと思います。

さて、前号で紹介した11月25日の「算数科研究発表会」ですが、おかげさまで、子供たち一人一人の学習への前向きな姿勢を、多くの方々に見ていただくことができました。参観した市内各学校の先生方からは、「子供たちが受け身ではなく主体的に活動している場面が多く、自ら発見して新たな方法を生み出している姿に感動しました。」「子供の気づきを先生がひろって全体に伝えていくことで、学びが深まったり広がったりしていくのが素晴らしいかった。」などという、児童や教員の良さを取り上げて褒めてくださるご感想をたくさんいただきました。

また、「教室の雰囲気が温かい。」「児童と担任の先生の人間関係の良さが伝わってくる。」いうお褒めの言葉も多数いただきました。

本校で3年間継続して取り組んできたことが、子供たちのよい学びの姿となって表れていることを実感でき、学校としても嬉しく思っています。

さらに、昨年度まで本校におられた荒井校長先生、川田教頭先生、以前教頭として勤務されていた石塚校長先生、大藤先生（現市教委指導主事）、福田先生など、懐かしい先生方に、子供たちの成長を見ていただくことができたことも大きな収穫となりました。多くの方々に支えられている心強さを感じると共に、校長として、今までかかわってくださった皆さんの願いを引き継ぐ重責をあらためて感じているところです。

この発表会は終結ではなく、一つの通過点に過ぎません。これからもさらに子供たちの主体的な学びを引き出し学力向上につなげられるよう、学校全体で頑張っていきたいと思っています。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【行事等の予定～12月、H29.1月～】

<12月後半の主な行事等の予定>

- 14日(火) お弁当の日、地区集会
- 16日(金) Pあいさつ、クラブ
- 20日(火) 5年校外学習（栃木方面）
- 22日(木) 第2学期終業式
- 23日(金) 天皇誕生日
- 25日(日) 冬季休業日（～1月7日）
(12月23日から1月9日まで、冬休みとなります)

<1月の主な行事等の予定>

- 1日(日) 元日
- 9日(月) 成人の日
- 10日(火) 第3学期始業式（給食開始）
- 11日(水) 学力診断のためのテスト3～5年（国語・理科）
- 12日(木) 学力診断のためのテスト3～5年（算数・社会）
- 13日(金) Pあいさつ

※ 変更等があった場合は、その都度連絡いたします。

算数研究発表会(11月25日)では、問題を解決する力を育てる算数の授業の在り方を提案しました！

研究発表会では、「問題を解決する力を育てる算数の授業の在り方－たいがいっぱいの授業の工夫から－」というテーマのもと、各学年で授業の様子を公開しました。当日は教育委員会や市内の各学校から、130名程の先生方が参観に訪れました。最初は緊張していた子供たちでしたが、授業が進むにつれて、「問題を解きたい。」「自分の考えを伝えたい。」等の気持ちが高まり、意欲的に授業に取り組みました。そんな授業の様子を、お伝えいたします。



【体育館での全体会の様子】



【6年生】

- ★どうしてそう考えたの？
- ☆同じ速さで進むのだから、時間と長さの関係は…

(理由や根拠をもって考える場面)



【4年生】

- ★こうすればこの図形の面積を求められるんじゃないかな？
- ☆なるほど！いい考えだね！！

(友達の考え方よさに気付く場面)



【3年生】

- ★粉の重さを量るには、容器に入れた方がいいね。
- ☆容器の重さを引くといいよね。

(お互いの考え方を交流する場面)



【2年生】

- ☆かけ算、9の段にはこんなあります！
- ～説明にアレイ図を使います～

(自分の考え方を表現する場面)



【5年生】

- ☆○○さんは、くらべる量を求める式から、計算しています。
- ～ノートを拡大投影しています～

(自分と友達の考え方を比較する場面)



【1年生】

- ☆問題を出します！
- ～自分で問題をつくり、友達に出したり、参観している先生方に解いていただいたりしました～

(学んだことを発展させる場面)

子供たちの「～たい」（やってみたい、説明したい、使ってみたい等）を引き出す授業の工夫を行ってきたことで、自分から解決方法を進んで考える力が伸びてきています。今後、研究の成果を生かして、たいがいっぱいの授業を工夫して参ります。

冬休み、家族の一員として

年末年始、ご家庭では暮れの大掃除やお正月の準備と、何かとご多用のことと思います。そんな冬休みは、子供たちの自己有用感を高める絶好の機会です。子供たちに、ぜひ家族の一員としての役割を持たせてください。そして、頑張ったことをどんどん認めて、ほめてあげてください。勿論、上手くいかないこともあります。そんな時は、「こうするといいよ」と、上手くいく方法やこつを教えてあげてください。「家族のために頑張れた」と実感できることは、子供たちの“何事も前向きに一生懸命取り組む力”を育むことにつながります。

平成29年が子供たち一人一人にとって、明るく活気に満ちた年となりますように！